

山梨県有林における 代表的な希少植物種



山梨県森林総合研究所

2017年3月版

はじめに

- 山梨県有林は、第3次県有林管理計画（平成28年度～平成38年度）に基づき管理を行っています。また、FSCの10の原則と56の規準に沿ったグローバルスタンダード（世界標準）の視点から持続可能な森林経営をさらに推進していくために、FSC森林管理認証を取得しています。その中で、FSC森林管理認証の大きなテーマが環境への配慮であり、希少種の保護を考慮した森林管理も求められています。
- 本資料では、「持続可能な生態的森林管理における希少種管理支援ツールの開発（平成25-29年度県単試験研究課題）」の一部として、森林に生育する希少植物種の特徴を紹介しています。今後の業務の参考になれば幸いです。
- 今後、内容の充実と掲載種の追加を随時行って参ります。
- 「県内での主な分布」：「山梨の植物誌」（参考文献参照）により7つに分割された県内の地域における分布を示しています。黒字は「山梨の植物誌」に依拠し、赤字は当所研究員により確認された分布を示します。
- 写真撮影
長池卓男・大津千晶・飯島勇人
- 参考文献
神奈川県植物誌2001（神奈川県植物誌編集委員会、神奈川県立生命の星・地球博物館）
日本の野生植物（平凡社）
山梨の植物誌（植松春雄、井上書店）
山梨県レッドデータブック2005（山梨県）

掲載種	ページ
アズマイチゲ	3
イチヨウラン	4
オオバボダイジュ	5
カナウツギ	6
カモメラン	7
キクザキイチゲ	8
キバナウツギ	9
キバナノショウキラン	10
キンラン	11
ギンラン	12
クサタチバナ	13
クリンソウ	14
コガネネコノメソウ	15
コチャルメルソウ	16
コハクウンボク	17
サカネラン	18
サワルリソウ	19
サンショウバラ	20
シロヤシオ	21
タガソデソウ	22
チチブシロカネソウ	23
ツクバキンモンソウ	24
ツチアケビ	25
ハシドイ	26
ハシバミ	27
ヒコサンヒメシャラ	28
ヒメムヨウラン	29
フウリンウメモドキ	30
ホテイラン	31
ヤマシャクヤク	32

アズマイチゲ

絶滅危惧ランク	国：—		山梨県：絶滅危惧 I B	
県内での主な分布	関東山地	ハケ岳	南アルプス	富士山
主な特徴	花は白色、裏面は少し紫色を帯びる。花茎は長軟毛があるが、落ちやすい。茎や葉は全体に青白色を帯びている。高さ15～20cm。早春季植物。			
主な生育環境	落葉樹林の林縁や林床、石灰岩地を好む			
主な類似種とそれとの相違	キクザキイチゲ：茎葉はアズマイチゲより固くしっかりしている。アズマイチゲより葉の裂け方が細かい。			



【類似種】 キクザキイチゲ



イチヨウラン

絶滅危惧ランク	国：－		山梨県：絶滅危惧 I B	
県内での主な分布	関東山地	ハケ岳	南アルプス	富士山
主な特徴	地生の多年草。高さ10～20cm。 葉は根茎の先端に1個つき、卵形で肉質、柄がある。花期は5～7月、淡緑色で中心部に紫紅色の斑紋がある。			
主な生育環境	ブナ帯～針葉樹林帯の樹林内			
主な類似種とそれとの相違				



【類似種】

オオバボダイジュ

絶滅危惧ランク	国：－	山梨県：準絶滅危惧
県内での主な分布	関東山地	櫛形、御坂、天子、道志
主な特徴	高さ6～8mの落葉高木。若枝には淡黄色の柔らかい星状毛が密生する。6～7月、葉柄の基部側方から長さ6～10cmの花序を伸ばし、十数個の花をつける。	
主な生育環境	山地帯の落葉広葉樹林中	
主な類似種とそれとの相違	シナノキ：オオバボダイジュよりも葉が小さめ（4～10cm）で葉柄が短い（2～5cm） ※シナノキ葉の大きさ：7～13cm、葉柄：4.5～7cm	



【類似種】 シナノキ



カナウツギ

絶滅危惧ランク	国：－	山梨県：絶滅危惧Ⅱ
県内での主な分布	櫛形、御坂、天子、道志	富士川、相模川
主な特徴	高さ1～2mの落葉低木。幹は叢生し、枝は細く、無毛。葉は三角状広卵形で先が尾状に伸びてとがり、基部は心形。花は白色で5～7月に開花。	
主な生育環境	山地の日当たりの良い林縁	
主な類似種とそれとの相違	フサザクラ：フサザクラは高木で高さ7～8mに達する。葉の形はカナウツギが三角状になるのに対し、フサザクラは広卵形。	



【類似種】フサザクラ



カモメラン

絶滅危惧ランク	国：絶滅危惧 I B		山梨県：絶滅危惧 II	
県内での主な分布	関東山地	ハケ岳	南アルプス	櫛形、御坂、天子、道志
主な特徴	根は横に這い、ひも状。茎は高さ10～15cmで翼がある。葉は1個、根生し、有柄で広楕円形。花は5～7月、ふつう淡紅色の2花をつける。			
主な生育環境	山地の湿気の多い疎林内や林縁			
主な類似種とそれとの相違				



【類似種】

キクザキイチゲ

絶滅危惧ランク	国：—		山梨県：絶滅危惧 I B	
県内での主な分布	関東山地	ハケ岳	南アルプス	富士山
主な特徴	林冠木の開葉前に、展葉・開花する春植物の多年草。高さ10~20cm。夏以降に地上部は存在しない。			
主な生育環境	林床が明るい、山地の落葉広葉樹林に多い			
主な類似種とそれとの相違	<p>イチリンソウ・ニリンソウ：花弁はキクザキイチゲよりも太い。キクザキイチゲはやや紫色を帯びる。花弁はキクザキイチゲが8枚以上なのに対し、7枚以下。</p> <p>アズマイチゲ：アズマイチゲより茎葉は固くしっかりしており、葉の裂け方が細かい。</p>			



【類似種】 イチリンソウ ニリンソウ アズマイチゲ



キバナウツギ

絶滅危惧ランク	国：－		山梨県：絶滅危惧Ⅱ	
県内での主な分布	南アル プス	関東山 地		
主な特徴	高さ2～3mの落葉低木。若枝は緑色。葉は対生しほとんど無柄、両面有毛。葉腋から花をつける。花は淡黄色でつぼみの時は緑色、開花期4～6月。			
主な生育環境	深山、ブナ帯～シラビソ帯			
主な類似種とそれとの相違	ウツギ、ニシキウツギ：キバナウツギの葉がほぼ無柄なのに対し、有柄（順に2～5、5～10mm）。 マルバウツギ：触ると葉の表面がざらつく。			



【類似種】

ウツギ



ニシキウツギ



マルバウツギ



キバナノショウキラン

絶滅危惧ランク	国：絶滅危惧 I B	山梨県：絶滅危惧 I B
県内での主な分布	南アルプス	富士川、相模川
主な特徴	腐生ラン。草木全体が黄褐色で、高さ20～50cm。根茎が密に分枝して団塊状になる。花は黄褐色で6～7月に開花。	
主な生育環境	山地帯(ブナ帯)の落葉樹林の林床やササ原	
主な類似種とそれとの相違	ショウキラン：ショウキランは、茎は白色でやや紅紫色を帯び、高さ10～25cm。	



【類似種】 ショウキラン

キンラン

絶滅危惧ランク	国：絶滅危惧Ⅱ	山梨県：絶滅危惧ⅠB	
県内での主な分布	県全域		
主な特徴	茎は直立して高さ20～70cm。葉は5-8個で互生し、広い披針状、先端は鋭くとがり、基部は茎を抱く。4～6月黄色の花を3～12個つける。		
主な生育環境	山地や丘陵の疎林内や林縁、特に手入れの行き届いた雑木林内や林縁を好む		
主な類似種とそれとの相違			



【類似種】

ギンラン

絶滅危惧ランク	国：－	山梨県：絶滅危惧Ⅱ
県内での主な分布	県全域	
主な特徴	茎は高さ10～30cm、直立し、無毛。葉は3-6個で互生し狭長楕円形、鋭尖頭、無毛で基部は茎を抱く。5～6月、白色の数花をつける。	
主な生育環境	山地や丘陵の疎林内や林縁	
主な類似種とそれとの相違	ササバギンラン：茎は高さ30～50cmと高い。花の下部についている葉（苞）がギンランは小さく、ササバギンランは大きい。ギンランの葉、茎は無毛でササバギンランは有毛。	



【類似種】 ササバギンラン



クサタチバナ

絶滅危惧ランク	国：－	山梨県：絶滅危惧Ⅱ		
県内での主な分布	櫛形、御坂、天子、道志			
主な特徴	多年草。茎は直立し高さ30-60cm、緑色で分枝しない。葉は対生で柄があり卵形～長楕円形。花は5～7月に開花し白色。花序には長い柄があり、茎上部に集まる。			
主な生育環境	山の草地またはやや乾いた林内、石灰岩地など			
主な類似種とそれとの相違				



【類似種】

クリンソウ

絶滅危惧ランク	国：一	山梨県：絶滅危惧Ⅱ	
県内での主な分布	県全域		
主な特徴	多年草。地下茎は短く、分枝して株をつくる。葉は大型で根ぎわに群生し、柔らかく無毛。5～6月、高さ40～80cmの無毛の花茎を伸ばし、2-5段に輪生して多数の花をつける。花冠は紅紫色で花喉部は濃紅紫色。		
主な生育環境	山麓の湿地		
主な類似種とそれとの相違			



【類似種】

コガネネコノメソウ

絶滅危惧ランク	国：—		山梨県：絶滅危惧 I B	
県内での主な分布	関東山地	富士山	富士川、相模川	
主な特徴	多年草。根出葉は花時には枯れる。走出枝は発達し、白色の軟毛を密生する。葉は扇形～円形で、縁にするどい鋸歯がある。花茎の高さ4～10cm。花期は4～5月で、花は黄色。			
主な生育環境	山地の沢沿いの陰湿地			
主な類似種とそれとの相違	他のネコノメソウ属と比べるとコガネネコノメソウの花の萼片は鮮やかな黄色で、四角状に直立するのが特徴。			



【類似種】

コチャルメルソウ

絶滅危惧ランク	国：－		山梨県：絶滅危惧 I B		
県内での主な分布	関東山地	ハケ岳	南アルプス	楕形、御坂、天子、道志	富士川、相模川
主な特徴	多年草。長く横に這う根茎がある。根出葉は広卵型～卵円形で、基部は深い心形、縁は浅く5裂し、両面に立った粗い毛と、微小腺毛を生じる。花茎は無葉で、高さ20～30 cm。花期は4～6月。花弁は2～10個で、紅紫色または淡黄緑色で、羽状に裂ける。				
主な生育環境	ブナ帯の沢沿いや湿った樹林内				
主な類似種とそれとの相違					



【類似種】

コハクウンボク

絶滅危惧ランク	国：－	山梨県：絶滅危惧 I B
県内での主な分布	関東山地	南アルプス
主な特徴	高さ3～5mの落葉小高木。若枝は星状毛が密生する。葉は倒卵形。花は6月ごろ、枝先の短い総状花序に数個下向きにつき、白色。	
主な生育環境	山地帯の林縁	
主な類似種とそれとの相違	ヤマハンノキ：ヤマハンノキが重鋸歯なのに対しコハクウンボクは単鋸歯。コハクウンボクは葉の表面の葉脈が凹んでシワがよっているように見える。	



【類似種】 ヤマハンノキ



サカネラン

絶滅危惧ランク	国：絶滅危惧 I B	山梨県：絶滅危惧 II
県内での主な分布	富士山	
主な特徴	地生の無葉緑腐生植物。茎は肉質で高さ20～40 cm。数個の膜質の鞘状葉を互生する。花期は5～6月。花序は汚白色花で多数総状につく。	
主な生育環境	山地の落葉樹林内の腐葉土に富んだ林床	
主な類似種とそれとの相違		



【類似種】

サワルリソウ

絶滅危惧ランク	国：－	山梨県：絶滅危惧Ⅱ	
県内での主な分布	関東山 地	富士山	
主な特徴	直立する多年草。茎は高さ50～80cm、短い圧毛がある。葉は互生し無柄、長楕円形、基部は細くなり茎に続く。花は5～6月に開き、筒状鐘形で青紫色～白色。		
主な生育環境	山地の木陰		
主な類似種とそれとの相違			



【類似種】

サンショウバラ

絶滅危惧ランク	国：絶滅危惧Ⅱ		山梨県：絶滅危惧Ⅱ		
県内での主な分布	南アルプス	櫛形、御坂、天子、道志	富士山	富士川、相模川	甲府盆地
主な特徴	高さ1～6mの落葉低高木。幹は太く、枝には扁平な刺がある。葉は互生し、9-19個の小葉からなり、各小葉は長楕円形。花は6月に咲き、淡紅色。				
主な生育環境	クリ帯からブナ帯にわたる山地の林縁や疎林中				
主な類似種とそれとの相違	フジイバラ：サンショウバラの小葉が4～9対なのに対しフジイバラは3～4対。花は白色で葉の表面は光沢がある。				



【類似種】 フジイバラ

シロヤシオ

絶滅危惧ランク	国：－	山梨県：絶滅危惧Ⅱ
県内での主な分布	県全域	
主な特徴	高さ3～6mの落葉小高木。若枝は赤褐色で無毛。葉は互生し有柄だが枝先に輪生状に5枚つき、葉身はひし形から卵状ひし形。花期は4月末～6月中旬、白色。	
主な生育環境	深山の岩の多い林縁	
主な類似種とそれとの相違	サラサドウダン：葉柄はシロヤシオより長く、5～12mm。葉の先端はとがる。	



【類似種】 サラサドウダン



タガソデソウ

絶滅危惧ランク	国：絶滅危惧Ⅱ	山梨県：絶滅危惧ⅠA
県内での主な分布	南アルプス	
主な特徴	多年草、茎は直立し、上部に腺毛をまじえた毛があり、高さ30～50cmになる。葉はほぼ無柄、披針形～卵状披針形、先は鋭尖形で、両面に伏毛があり、縁にも毛がある。花は5～6月、白色。	
主な生育環境	山地の林床	
主な類似種とそれとの相違		



【類似種】

チチブシロカネソウ

絶滅危惧ランク	国：一	山梨県：絶滅危惧ⅠA	
県内での主な分布	関東山地	楡形山	
主な特徴	発達した根茎がある多年草。根出葉は1回3出複葉で、小葉は3裂し、鋸歯がある。花茎は高さ20～35cmになり、中ほど以上に茎葉をつける。5月頃、花は白く上向きに咲く。		
主な生育環境	山地帯上部の樹林下		
主な類似種とそれとの相違			



【類似種】

ツクバキンモンソウ

絶滅危惧ランク	国：－		山梨県：絶滅危惧 I B	
県内での主な分布	関東山地	南アルプス	富士山	
主な特徴	多年草。茎は高さ8～15cm。葉は円鋸歯縁で葉裏が紫色を帯びる。開花期は4～5月で、花は全体白色または淡紅白色で淡紫の条がある。			
主な生育環境	山地の明るい林床、関東から四国の太平洋側			
主な類似種とそれとの相違				



【類似種】

ツチアケビ

絶滅危惧ランク	国：－				山梨県：絶滅危惧Ⅱ	
県内での主な分布	関東山地	八ヶ岳	南アルプス	楕形、御坂、天子、道志	富士山	富士川、相模川
主な特徴	地生の無葉緑腐生植物。全体に褐色で、根茎は太く、横に長く這い、大型の鱗片葉をつける。地上茎は高さ50-100cm。花期は6～7月、花は黄褐色。果実は肉質、バナナ状で下垂し、秋には赤く熟す。					
主な生育環境	山地や丘陵の雑木林の林床またはササ群落内、ナラタケ菌と共生					
主な類似種とそれとの相違	キミノツチアケビ：キミノツチアケビの果実は黄色。					



【類似種】

ハシドイ

絶滅危惧ランク	国：－		山梨県：絶滅危惧Ⅱ	
県内での主な分布	関東山地	南アルプス	楕形、御坂、天子、道志	
主な特徴	高さ6-7mの落葉小高木。樹皮は横に皮目があってサクラに似る。葉は広卵形～卵形、全縁。葉の表面は無毛、裏面は短毛があって、毛は特に中肋基部近くに多い。花は6～7月に咲き、白色。			
主な生育環境	山地			
主な類似種とそれとの相違	マユミ：細鋸歯があり、葉柄は短い			



【類似種】 マユミ



ハシバミ

絶滅危惧ランク	国：一	山梨県：絶滅危惧Ⅱ	
県内での主な分布	関東山地	ハケ岳	富士山
主な特徴	落葉大型低木。雌雄同株。若枝や葉柄は軟毛のほか、ときにかたい腺毛が混じる。葉の表面ははじめ毛があるが、のち無毛となり、裏面は開出短毛がある。花は3～4月、雌花序は小さく、数花が頭状に集まって、赤い柱頭だけが芽鱗の外に現れる。		
主な生育環境	日当たりの良い山地		
主な類似種とそれとの相違	ツノハシバミ：実の形が異なる。ハシバミの葉の基部はハート形だが、ツノハシバミは円形。葉の裏面の脈上に斜上する毛が生える。		



【類似種】 ツノハシバミ



ヒコサンヒメシヤラ

絶滅危惧ランク	国：－		山梨県：絶滅危惧Ⅱ	
県内での主な分布	南アルプス	楕形、御坂、天子、道志	富士山	
主な特徴	高さ15mの落葉高木。若枝は赤褐色。葉は互生し、有柄、葉身は羊皮質、卵状楕円形または楕円形鋭尖頭、表面は緑色で、裏面は淡緑色。花は7月に開花、白色。			
主な生育環境	ブナ帯			
主な類似種とそれとの相違	ナツツバキ：樹皮はヒコサンが茶褐色になるのに対してナツツバキは灰白色や赤褐色の大きな斑紋ができる。葉はヒコサン（3～7cm）よりも大きめで4～10cm。			



【類似種】 ナツツバキ



ヒメムヨウラン

絶滅危惧ランク	国：絶滅危惧Ⅱ	山梨県：絶滅危惧Ⅱ
県内での主な分布	櫛形、御坂、天子、道志	南アルプス
主な特徴	無葉緑腐生植物。根茎は短い。茎は高さ10-20cm。茎はやや細くて無毛、全体が赤褐色をおびる。6～8月に淡褐色の花をやや多数、まばらにつける。	
主な生育環境	ブナ帯～針葉樹林帯の樹林内の腐植土に富んだ林床	
主な類似種とそれとの相違		



【類似種】

フウリンウメモドキ

絶滅危惧ランク	国：－		山梨県：絶滅危惧 I B	
県内での主な分布	ハヶ岳	南アル プス	富士山	関東山 地
主な特徴	高さ1～2mの落葉低木。雌雄異株。葉の表面は短毛が散生し、裏面の脈上に出る軟毛がある。花は5～6月開花、白色～緑白色。果実は赤く熟し下垂する。			
主な生育環境	山地の明るい樹林下			
主な類似種とそれとの相違	アオハダ：葉は短枝に束生する			



【類似種】 アオハダ



ホテイラン

絶滅危惧ランク	国：絶滅危惧 I A	山梨県：絶滅危惧 I A
県内での主な分布	関東山地	南アルプス
主な特徴	地生の多年草。花茎は直立し高さ6-15cm。葉身は卵状楕円形、縦じわが顕著で、縁は波状に縮れ、裏面は紫色。5～6月、先端に桃色の1花をつける。	
主な生育環境	亜高山、針葉樹林下	
主な類似種とそれとの相違		



【類似種】

ヤマシャクヤク

絶滅危惧ランク	国：絶滅危惧Ⅱ	山梨県：絶滅危惧ⅠB
県内での主な分布	県全域	
主な特徴	<p>多年草。根茎は横に這い、太い根を出す。茎は高さ40～50cm。3～4枚の茎葉を互生し、茎基部には数枚の鱗片がある。葉はふつう2回3出複葉で、小葉は楕円形～倒卵形、先は狭まってとがり、両面とも無毛。裏面は白色を帯びる。5月頃、白色の花を1個茎の先端につけ、上を向いて開く。</p>	
主な生育環境	<p>落葉広葉樹林の林床や林縁、石灰岩地を好む傾向。</p>	
主な類似種とそれとの相違	<p>ベニバヤヤマシャクヤク（県絶滅危惧ⅠB）：ベニバナは葉の裏に軟毛が生え、花は紅紫色。</p>	



【類似種】 ベニバナヤマシャクヤク